

# 環境に係る情報協議会

## 国営かんがい排水事業 美河地区

### 1. 環境に対する考え方

#### 《農村環境の現状と課題》（「三石町田園環境整備マスタープラン」より）

##### 【現状】

豊かな森林、清らかな河川、広大な牧場と海やそこに住む動植物など、すぐれた自然環境に恵まれている。

##### 【課題】

現状の豊かな自然環境を保全し将来にわたって存続していくことが課題となっている。

#### 《環境保全の基本的考え方》（「三石町田園環境整備マスタープラン」より）

- ・ 施設等の整備に際しては、現状の自然環境を十分に弁えて実施し、必要に応じて環境配慮の5原則に沿った措置を講じる。
- ・ 自然環境を生かした環境保全に資する施設整備や環境への負荷が少ない社会基盤整備の推進を図る。
- ・ 『自然環境とふれあいの場の整備』、『農村美化活動の推進（農村景観の保全）』、『景観地のネットワーク化』などの取組の推進が必要

### 2. 環境配慮計画の策定に向けた調査

#### 《基本方針》

##### ○ 調査位置の考え方

本地区の環境は、大きく以下の2区域に区別されることから、それぞれの区域において調査位置を決定する。

- ・ 水辺・山林に囲まれたダムエリア：三石川直下流地点
- ・ 農地・水辺・山林に隣接する頭首工周辺エリア：歌笛頭首工直下流地点

##### ○ 調査項目の考え方

調査の行われていない項目について現地調査を行う。

#### 《環境調査内容》

- 調査項目
- |           |       |        |
|-----------|-------|--------|
| ① 哺乳類     | ② 鳥類  | ③ 魚類   |
| ④ 両生類・は虫類 | ⑤ 昆虫類 | ⑥ 底生動物 |
| ⑦ 植物      | ⑧ 水質  |        |

- 調査方法
- |        |                  |
|--------|------------------|
| 哺乳類    | ： フィールドサイン法、目撃法  |
| 鳥類     | ： ラインセンサス法、定点観察法 |
| 魚類     | ： 採捕調査、目撃法       |
| 両生・は虫類 | ： 目撃法            |
| 昆虫類    | ： 任意採集法、ベイトトラップ法 |
| 底生動物   | ： 定性採集法          |
| 植物     | ： 植物相調査          |
| 水質     | ： 濁度、SS          |